

\*\*\* 本号のラインナップ \*\*\*

### まちの遊学人

生涯学習ボランティア  
◆大塚 和敬 さん

団体コーディネーターの達人  
◆三輪 勝 さん

### サークル紹介

太鼓は楽しい  
◆和太鼓サークル 清心太鼓

囲碁を楽しむ  
◆武里東公民館囲碁クラブ

### 生涯学習事業レポート

◆不思議な宇宙の魅力を伝えたい  
(幸松地区公民館)

◆わが故郷 豊野地区の文化財と  
史跡巡り  
(豊野地区公民館)

## かすかべ遊学フェスティバル2023が 10月から12月の期間で開催されます

春日部市民の日記念

### 生涯学習の祭典

遊びながら、 学びながら… ときめき発見。

# かすかべ 遊学 フェスティバル 2023

生涯学習のマスコット  
「マナビィ」

学習の成果を  
「はるがく帳」に  
記録しよう！

スポーツ・文化・芸術など、様々な  
事業が盛りだくさん。新たな学びの  
きっかけづくりに、「来て、見て、  
体感」してみませんか。

実施予定時刻については、  
パンフレットまたは、二次  
元ロードからご確認ください。  


10月～12月は【かすかべ遊学フェスティバル推進月間】です

主催 かすかべ遊学フェスティバル実行委員会 皆さまのご参加をお待ちしております  
事務局 春日部市教育委員会 社会教育課 生涯学習推進担当 お問い合わせ 048-763-2425

自然観察会や音楽祭、文  
化祭などさまざまな事業  
が開催されます。

それぞれの事業は、公民  
館などで配布されている  
パンフレットや市公式  
ホームページに掲載され  
ていますので、ご興味  
のある催し物にお出かけ  
してみてください！



## まちの遊学人

### 生涯学習ボランティア

大塚 和敬さん（粕壁地区）



64歳で会社を退職した大塚さんは、市内の中学校で嘱託をしながら、子供の頃父親から教わった書道を学び直し、師範の資格をとりました。字を書いていると気持ちりが充実し、時間が経つのを忘れず。今も、夏の埼玉会館の書道展には必ず出品しています。

今日は、粕壁南公民館主催のコミセン茶屋にきました。コミセン茶屋は、ご近所の居場所づくり、また暮らしに役立つ知識・技術を身につける機会として、毎月開催されています。今日のプログラムは、「一緒に歌おう」で、30名以上の方が参加します。大塚さんは、コミセン茶屋のボランティアスタッフとして活動しています。

主な仕事は、会場設営と後片づけ、受付とアンケート用紙の回収です。そして一般の方と一緒にプログラムを楽しみます。開催日の1週間前には公民館職員と準備のための打ち合わせをし、そして年に1度、次年

度のプログラムを提案する会議出席します。

実は大塚さんは1年半前までの10年間、春日部市の生涯学習市民推進員をしていました。コミセン茶屋を始め、地域の方が「外に出る」きっかけになるようなイベントの企画や運営に情熱を注ぎ、昨年春日部市教育委員会の表彰を受けました。

大塚さんが、生涯学習のボランティアをしようと思ったきっかけは何でしょう。「引退して、家でゴロゴロ、テレビを見ているような生活はしたくない、年寄には教育・教養だけでなく今日行く・今日用がある生活が必要」と明快なお答えです。

「他人に教えられるものを持っている人はサークルをつくり楽しむこともできる。でも会社員を長くやっているとなかなか難しい。だったら私のように生涯学習のボランティアをして楽しんでみてはどうでしょうか」とのことです。



コミセン茶屋の受付

### 人 団体コーディネーターの達人

三輪 勝さん（内牧地区）



春日部駅西口の市民活動センターや東口の教育センターで、優しい物腰でパソコンを指導する三輪さんの姿をよく見かけます。

三輪さんは、パソコン教室では自分のやり方を押し付けず、皆の知りたいことを、自分の経験を引き合いに共に学ぶという姿勢を感じます。

また、あしすと春日部（春日部市総合福祉センター）に通う障がい者がパソコンを習いたいと希望していると聞き、マンツーマン指導に出向き、喜ばれたこともあります。

そもそもパソコン教室のボランティアは、退職して「ふれあい大学」と「いきがい大学」で学びながら、シニア世代が家に閉じこもらないよう、交流を通じて共感や生きがいを得て欲しいという気持ちからと云います。それには、パソコンやスマホなどを駆使して新しい情報の探り方を広めるのが一番との考えがありました。

社会福祉協議会主催の「ふれあい

広場」や「ぼほらフェスティバル」など永年指導しているパソコン教室の団体でのボランティア活動に対し、県の社会福祉協議会から2022年度会長賞を受賞しています。

また、17年ほど前から11月14日県民の日をこどもの文化の日にと始まった、埼玉県芸術文化協賛事業「こどもライブフェスタ」に団体実行委員として参加しています。

今や定番となった「忍者ごっこ」は、パソコン教室のシニア会員たち、他の団体・個人・学生ボランティアが一丸となり、子ども達に楽しんでもらおうと盛り上がりがあります。

さらに、内牧でも夏のことも納涼祭をやるうと内牧地区公民館行事として実施、ベイコマや、親子遊びなどにたくさんの子どもの歓声が上がりました。

幅広いこうした活躍は、繋がりをも求めているのはシニアだけではなく、という確信なのでしよう。



喜びの三輪さんたち



# サークル紹介

## 太鼓は楽しい

和太鼓サークル 清心太鼓

(豊春地区)



和気あいあい

和太鼓サークルの清心太鼓は、昭和62年から約36年間続いています。活動は豊春第二公民館で、会員が約13名で男女約半数です。代表者は野内雅矢さんで、現在、会員の指導をしています。練習日は、毎週土曜日と日曜日で、土曜日は午後4時から6時まで、日曜日は午前10時から12時までの2時間の練習をしています。太鼓の数は大、中、小合わせて7〜8個使用しています。メンバーの年齢は、上は70代から下は小学5年生までいます。平均年齢は40代から50代です。曲目は盆踊りや組太鼓を中心として、一番大変なことは曲を覚えることと、リズムを合わせることです。

メンバーの活動場所は、地域の夏

祭りや藤まつり、老人ホームの訪問などです。太鼓の音は、たたくのではなく、打つことです。特に音の強弱をつけて、リズムに合わせるのが練習の基本となります。代表者の野内さんにかがったところ、メンバーをまとめていくことが一番気を遣うことだそうです。とにかく練習は楽しくやるのがモットーだそうです。

これからも続けていくために、新しいメンバーを募集中で、初心者も歓迎しています。少しでも多くの人に太鼓の楽しさを知って欲しいです。興味のある人は、豊春第二公民館の練習を見に来てください。



「組太鼓」の雄姿

## 囲碁を楽しむ

武里東公民館囲碁クラブ

(武里地区)



大会風景

5月28日、武里東公民館で令和5年度第1回大会が行われました。碁盤がずらりと並べられたホールでは、すでに対戦がはじまっています。意外と石音が低く静かですが、対戦者の内に秘めた闘志がうかがえます。昭和56年3月に武里東公民館が開館しました。初代館長の夫、伊藤光夫さんが日本棋院3段の免状を持っていたこともあり、昭和57年4月から囲碁講座を始めました。武里東公民館囲碁クラブは、以来41年という長い歴史を重ねています。

会員数は現在28名、ご多分に漏れず高齢者がほとんどですが、昇級昇段に勤(いそ)んでいます。会員の段級位者は2級から11段まで居りますので、どなたが来てもお相手ができる布陣です。

活動は、毎週日曜日午前8時30分から正午までと年4回の大会で、大会は8時30分から16時までです。碁敵(ごがたき)どうし大いに楽しんでいきます。

「囲碁は頭を使います。楽しみながら健康寿命を延ばすなんて嬉しいじゃありませんか」と、鈴木副会長。「囲碁クラブは、礼儀と和気あいあい、このことをモットーとしています。でも勝つと嬉しい、私などは高段者に勝った時には、やったア!と大喜びします。今、クラブの会員が増えることが1番の願いです。興味をお持ちの方は、是非足を運んでみてください。入会を歓迎します」会長、山井一利さんの熱いことばでした。

【問い合わせ】

渡辺国衛 048・737・5402



熟考して...

# 生涯学習事業レポート

不思議な宇宙の魅力を伝えたい!!

幸松地区公民館



教室の風景

40年ほど前までは、市内からでも夜空に天の川が見える日がありました。だが、都市の光にすっかり埋もれてしまった今では、残念ながら明るい星しか見えなくなっています。そんな明るい夜空の下でも、子どもたちに宇宙の不思議な魅力を少しでも感じてもらいたいと願い、近隣の市に住む宇宙が大好きな仲間たちが集まって始めたのが、「星壳王教室」のスタートでした。

始めたころは「どうやって楽しさが伝えられるか、試行錯誤でしたが、「星壳王教室」も回を重ねて30年近くが経ち、今では春日部市や越谷市、草加市、八潮市の公民館や文化センターなどで年に10数回開催し、星座早見板を作ったり、四季に合わせて星座や星の説明を行なったり、

望遠鏡を使った観望会を実施して、子どもたちに宇宙の魅力を伝えてきました。

望遠鏡で初めて見る土星や月のクレーターに、子どもたちが驚きの声を上げ、目が輝いている姿を見ると、昔自分たちが子ども頃の頃に感じた熱い思いが蘇ってきます。

最近の観望会ではデジタル技術の発達に伴って、目では見えなかった暗い星雲などの天体がテレビモニターを通して、色鮮やかに観ることができるようになり、観望できる天体メニューがさらに拡がりました。

これから子どもたちに宇宙に興味を持ってもらえるよう工夫しながら、自分たちも一緒に楽しんで活動して行きます。



先生の話に聞き入る参加者

わが故郷 豊野地区の文化財と史跡巡り

豊野地区・藤塚公民館



「薬師沼親水公園」の案内板

今にも雨が降り出しそうな危うい天候の下、定員10名の参加者と引率の推進員2名に、両公民館からも同行し、総勢15名程で催行されました。

午前9時に豊野地区公民館へ集合し、2階研修室にて点呼・確認をし、これから巡る箇所のビデオを観賞した後に身支度を整えて、9時30分頃隊列を組んで出発しました。

最初の「銚子口香取神社」では、「銚子口の獅子舞」についての説明や、神社の裏手にある「富士塚」の富士山信仰の話等がありました。

次の「旧豊野中学校跡地」には、校門の片割れのみが遺っていました。その後訪れた「西蔵院」は、昔は

寺子屋で一時は小学校の役目を果たしていたとのことでした。寺院散策の後「纒墓(ほろはか)」に向かいました。

纒墓の由来が石碑に彫られており、「昔この地で命を落とした纒武者を村人が葬り、塚を築いたことで、後に纒墓と呼ぶようになった」との事で詳しい説明は、その場で紙芝居の実演を通して知ってもらいました。

次は、古利根川左岸に出て、用水路としての「大落古利根川」の重要な働きを知ることが出来ました。そこで俳句板や川の駅の事も知りました。

最後の「薬師沼親水公園」は、桃屋の工場に隣接しており、池では太公望達がのんびりと糸を垂れています。約2時間、5キロの行程でしたが、心配していた天候にも恵まれ、無事公民館へ帰着しました。

生涯学習市民推進員（地区別）（※は編集委員）

- 【粕壁】 市川実、藤田葆雄、泉 栄
- 【内牧】 三輪勝、高橋昌子
- 【豊春】 杉山充男、津布久常之、早坂隆\*
- 【武里】 富岡一雄\*、白川武文\*、水島芳子
- 【幸松】 嶺井美智子、赤堀良孝
- 【豊野】 本田幸子\*、高澤敏雄
- 【武里南】 山田農久\*、佐野哲郎、角田範夫、八重樫通代
- 【庄和】 沖田隆一、栗岡一孝、内山厚一、清水希貞\*